



馬の学校通信

2023. 9 vol.9 1

発行 馬の学校

事務局 千山梨県北杜市大泉町西井出 3197-3-203 TEL/FAX : 0551-30-4397



E-mail : umanogakkou@yahoo.co.jp ホームページ : <http://www.horseschool.org>



ミルキーは 新たな場所へ！



ミルキーも今年で24歳、人間の年齢では70歳を過ぎました。まだまだ元気ですし、ハフリンガーという品種は長生きする馬が多いと言われています。でも、もし乗れなくなっても、ふれあいが続けられる場をと思い、北杜市内の『ハケ岳南麓 URAYAMA (裏山)』(「にんじんを育てて馬にあげよう」のコラボ企画を行っている白倉農園)の敷地内に引っ越しすることにしました。URAYAMAは、ケミカルフリー(無農薬・無化学肥料)でお米やお野菜を育て、田植えや稲刈り、豆腐作りや餅つきなど、食や農に関する様々なイベントを通して、みんなで楽しむことを続けて来られています。すでにヤギを2頭飼育しており、今後ポニーも飼育して、いろいろな活動を広げていこうとされていたところで、ミルキーも仲間に加えていただくことになりました。ミルキーは寂しがりやなので、2頭でのんびり仲良く暮らしていければと思っています。馬の学校として動物取扱業を取得するまでは(来年5月頃の予定)活動は一旦休止となりますが、その間に新たな場での活動に向けての準備を進めたいと思っています。

そして今後は、ミルキーのボロを畑や田んぼに使い、みんなで収穫したりミルキーにあげたりするだけでなく、稲わらをエサや敷料にしたり、小麦からふすまを取ったり、牧草を育ててあげるなど、ミルキーのいる環境で様々なものを循環させることができます。そしてそれらをみんなで体験できる機会を作っていきたいと思っています。また、URAYAMAには、ツリーハウスや木のブランコ等もある(冬の間みんなで修理をする予定です)ので、子どもたちの遊び場+馬とのふれあいや、アロマや鍼灸とのコラボ企画など、様々な形のプログラムができればと夢は膨らんでいます。また URAYAMA では将来的に飲食施設(カフェ)も設けたいと考えており、みんなで育てた農作物を調理して提供して憩いの場とし、人も馬もみんなが居心地の良い空間を作っていきたいと考えています。これまでお世話になったファナウステーブルの皆様、ミルキーの日々の世話といういろいろなプログラムの実施にご協力いただき、本当にありがとうございました。



おすすめの本

『はっきよい畑場所』 かがくいひろし著 講談社

夏休みに、「かがくいひろしの世界展」を観に行きました。特別支援学校の教員だったというのがくいさんの、どんな子どもたちも笑顔にしたいという思いの一端を垣間見ることができました。我が家では、まず赤ちゃんの時にだるまさんシリーズに出逢い、娘が相撲に興味を持った時にこちらにハマりました。これを読めばお野菜大好きになるというわけではありませんでしたが(笑)お野菜に親近感を持ち、親子で楽しめました。URAYAMAにもピッタリです。



今月のミルキー



ひたすら食べる！(笑)



削蹄中のミルキー。
いい子にしています♪

活動報告

にんじんを育てて馬にあげよう@裏山

(種まき編 5/3・収穫編 7/5)

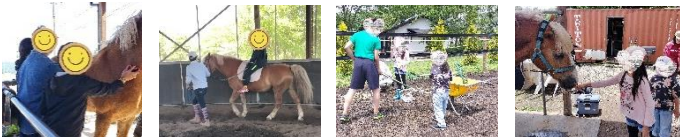
5/3 に、にんじんの種を蒔きました。ポロ（馬のうんち）を混ぜて土を準備し、筋を作って種を蒔き、藁のお布団をかぶせてお水をあげました。約2か月後の7/5には、小さめながらも立派な葉っぱ付きにんじんをたくさん収穫！お昼ご飯は、畑の野菜を使ってみんなでお好み焼き（5/3）、カレーとサラダ（7/5）を作りました。午後からのミルクィのお世話では、ポロを大切に拾い、ブラシがけや引き馬乗馬を楽しみ、ミルクィは美味しい葉っぱ付きにんじんをたくさんもらえて、大満足でした。（他の馬にもお裾分け♪）



馬と友達になろう

パルシステム山梨市民活動助成活動

パルシステム山梨の助成を得て、次の2種類のプログラムを行いました。①児童養護施設あいむの子どもたちを招待（2回）、②子ども食堂（地域食堂）参加の子どもたちを招待（1回）。放牧場の掃除とミルクィのブラシがけをし、引き馬乗馬を行いました。短い時間の中でも、ミルクィとの距離がぐんと縮まり、笑顔が見られ、2回目には自信を持って取り組む様子が見られました。来年度以降、URAYAMA でも何らかの形で続けていきたいと思っています。



編集後記

今年の夏は異常な暑さで、北杜市でも例年より暑い日が続きました。そんな中、8月前半は連日、馬場造成のお手伝い。馬場造成と馬小屋建設は馬三味（@小淵沢）にお願いしていますが、いろいろな方にお手伝いいただきつつ、進めてきています。馬場造成は、重機で整地し、穴を掘り、丸太の皮を剥いて柱を建て、板にヤスリをかけて防腐剤を塗り、横板として貼っていくという作業。初めての経験の中で、いろいろな発見もあり、大変ながらも楽しい時間でした。娘も手伝ってくれて、小学生にしてサンダーがけが上手になりました（笑）9月前半は馬小屋に使う板の整理・準備を行い（廃材を活用!）、後半から馬小屋建設が始まります。ミルクィは10月中旬頃に、ポニーと一緒にURAYAMAへ引っ越し予定です。新しい環境でのミルクィとの生活にドキドキワクワクですが、素敵な仲間たちとミルクィとともに、新たな道を作っていきたいと思います。

（峯崎友香理）

URAYAMA

クラウドファンディングに挑戦中！

URAYAMAの代表白倉篤さんが「昔飼われていた場所に、再び馬を招致し、循環型農業をみんなで楽しもう」として、クラウドファンディングに挑戦中です。

9月4日から開始し、何と6日目にして目標金額の125万円を達成！関わるみなさんのお人柄と、馬との循環型農業への関心の高さで、驚きの速さでの達成となりました。しかし、目標金額は、必要金額の半分の設定だったため、ただ今ネクストゴールに挑戦中。URAYAMAでの馬場や馬小屋の整備は馬の学校と共同で行っているため、ネクストゴールの達成は馬の学校としてもとても助かります。そして裏山の環境整備が進めば、ミルクィの活躍の場も増え、皆様にもゆったりとした時間を楽しんでいただくことができます。ぜひプロジェクトページをご覧ください。ご支援のほどよろしくお願いたします。（馬の学校にご連絡いただければ、振込用紙でも対応可能です）

READY FORのページ



<プロジェクトの内容>

かつて馬が暮らしていた古民家の跡地を整備し、再び馬を迎え入れ、URAYAMAに訪れる皆さんと共に循環型農業「田畑と馬で作られる優しい自然の生活」を楽しんでもらいたい！そのための安全な環境を提供するために、馬小屋と放牧場を整備します。

<目標金額>250万円

URAYAMAのHP



<募集期間>9月4日（月）

～10月16日（月）